



# 学校だより 第7号

令和3年7月9日  
新宿区立新宿西戸山中学校  
校長 佐藤 浩  
副校長 多久 知明

夏休みに入る前に、一学期の学び  
直しをしましょう。御家庭での  
働きかけもぜひお願いいたします！

校長 佐藤 浩

夏休みまで、いよいよあと十日となりました。生徒は、先日終わった期末考査の答案用紙が返され、それぞれの教科の結果に、喜んだり、悔しい思いをしたりしていることと思います。

一年生は、入学後初めての定期考査でした。思った通りの準備ができ、納得いく結果が残せた生徒、そうでない生徒、満足できた生徒、できなかった生徒、それぞれいます。

定期考査は、終わった後に、間違えた箇所をしっかりと確認し、確実に学び直していくことが大切です。ぜひ十日間は、その学び直しに全力で取り組んで欲しいと思っています。今回のテストで満足できなかった生徒は、次回はきちんと結果につながるよう、今から具体的な目標を定め、その目標に向かって最善を尽くしてくれることを願っています。

一、二年生は、今後、三年生になり、そして、卒業するまでに、何回も定期考査を受けます。そのテスト勉強の中で、色々な勉強の仕方を試し、自分に最も合った勉強の仕方を探っていくことが大切です。しかし、自分に合った勉強の仕方といっても、自分一人で見つけることは、簡単ではありません。特に苦手な教科については、ぜひ、教科担任の先生に相談して、勉強の仕方についてアドバイスを受けて欲しいと思います。失敗と成功を繰り返しながら、できるだけ早い時期に、自分に合った勉強方法が見付けられるよう願っています。

三年生は、あと三回の定期考査がありますが、特に二学期の二回の定期考査は、力を出し切り最高の成果を残すという強い決意をもって、学習に臨んで欲しいと思います。  
ご家庭においても、勉強の仕方について、お子様と話し合ってみてください。

## 校則等検討委員会 現在通学用バッグについて検討しています

現行の通学用バッグに様々な問題が確認されています。これまでも生徒や保護者の皆様から様々なご指摘、ご意見をいただいていたのですが、この度、今年度立ち上げた「校則等検討委員会」において、通学用バッグの見直しを具体的に進めることにしました。安全面、健康面、使いやすさ、価格等、様々な観点から、どのようなバッグが最適なのか検討していきます。

### 【現在の通学用バッグの問題点】

- ・タブレットに対応していない。(タブレットが破損した)
- ・校章が大きくプリントされている。(個人情報保護できない)
- ・教科書やノート類が丸まってしまう。
- ・バッグそのものが重くて体への負担が大きい。
- ・横に広がっていることから、色々な物にぶつかってしまう。



### 【変更後の通学用バッグの例】・・・黒の縦型リュックサック (30L)

7月8日(木)、臨時の生活委員会が開かれ、変更後の通学用バッグについて検討しました。サンプルを見たり触ったりしながら、使いやすさ、軽さなどを確認しました。7月12日(月)の生徒会朝会で、生活委員長の3年Aさんが、全校生徒に通学用バッグの変更について説明します。その後、アンケート調査をして全校生徒の意向をまとめ、9月の校則等検討委員会の場で生徒の意見を発表します。

## 都立高等学校説明会、貴重な話をたくさん聴くことができました！



地域協働学校の石原留理委員の司会で説明会はスムーズに進められました。

令和3年7月3日（土）1・2・3校時、アリーナにおいて、地域協働学校主催の都立高校説明会が開催されました。この説明会は、都立青山高校、赤羽北桜高校、そして、王子総合高校の校長先生及び進路担当の先生をお招きし、3年生と希望する保護者の方々を対象に、各学校の特色について話を伺う会であり、今年度、地域協働学校が初めて試みた行事でした。

3校の先生方には、それぞれの学校の教育の内容、授業や学校行事の様子等について、ていねいにお話いただきました。青山高校の小澤哲郎校長先生が、「高校選択で最も大切なのは、入れる学校を選ぶのではなく、自分が行きたい学校を選ぶことであり、高校に行ってから何に一生懸命取り組んでいくのか、しっかりと目的をもつことです。」と、高校選択に当たっての基本的な考え方等を話してくださいました。生徒は、この「自分が行きたい学校を選ぶ」という言葉に、大きな刺激をもらい、自分自身の進路を真剣に考えるきっかけになったようでした。3時間という長丁場でしたが、生徒は集中力を切らすことなく最後まで真剣に聞いていました。生徒の感想を紹介します。



3校共に学校の特色を分かりやすく説明して下さいました。生徒は色々な学校があることを知ることができ、興味関心も高まりました。

- ① 学力ではなく、自分が行きたい、自分に合った学校に行けと言われ、新しく道が開けた気がした。失敗が怖くて安全なラインを選んでいることがすごくつまらないことだと気付いた。将来のことで悩んでいたのも、とてもよい機会が与えられて、すごく助かりました。
- ② 一番印象に残ったのは、王子総合高校の説明です。最初の説明で、いい大学に行くためにいい高校に行くということは、そもそも正しいのかという考えを聞いて、とてもびっくりしました。
- ③ 進路選択といっても、僕は、成績がどうこうとしか考えていなかったもので、今日の説明会で成績以外での選び方に気付けたので良かった。
- ④ 普通科を考えていました。普通科について詳しく知ることができたので、もっと勉強して自分の夢に向かって走れるように頑張りたいです。内申については、希望しているところには、まだ全然足りていないので、青山高校の先生が見せてくれた動画のように、最後まであきらめずに、全力で頑張りたいです。
- ⑤ 今日の説明を聞いて、これからはもっと自分から高校について調べ、本当に自分に合った学校を見つけていきたいと思いました。
- ⑥ 高校とか、しょうじき選択肢も狭いし、どこでもいいやって思っていたけど、自分のしたいことはやっぱり続けたいなと思った。



生徒は食い入るように説明を聞き、質問もたくさんしました。写真の右側は地域協働学校の委員の皆さんです。

色々と悩んだり、葛藤したりしている様子がわかり、また、決意を新たにやる気が溢れている様子が伝わってきます。1・2年生はこうした3年生の状況を、来年、再来年の自分に置き換えて、想像してみたいと思います。1・2年生は、今はまだ漠然としていると思いますが、自分の夢は、将来就きたい職業は何なのか、そのためにはどのような進路を選んでいかなければならないのか、今からしっかりと考えていきましょう。そして、3年生は、今回の説明会をきっかけにして、目的意識をもって夏休みの高校見学をしてくれることを願っています。夢や明確な目標が定まれば、勉強意欲も自然にわいてきて、誰もが真剣に勉強に取り組むことができるようになると思います。そして、それが、成果へとつながっていくものと思います。期待しています！

夢や明確な目標が定まれば、勉強意欲も自然にわいてきて、誰もが真剣に勉強に取り組むことができるようになると思います。そして、それが、成果へとつながっていくものと思います。期待しています！